

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水田を守ろう！農業用薬剤散布事業
事業主体 (連絡先)	農事組合法人 フクロウ 0265-34-2960
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大イ農業振興と農山村づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	2,149,200円

事業内容

運転技術向上の為、操作確認練習 4名 5月10日
1回目薬剤散布 5月12日 面積6.2ha 作業員 3名
2回目薬剤散布 6月19日 面積3.5ha 作業員 3名
3回目薬剤散布 6月20日 面積2.5ha 作業員 2名
4回目薬剤散布 6月25日 面積1.5ha 作業員 2名
5回目薬剤散布 7月8日 面積1.5ha 作業員 2名
最終散布面積 15.2ha

5日間で15.2haの薬剤散布ができましたので、畦畔草刈り等ほかの農作業ができました。



【 農薬散布状況 】

【目標・ねらい】

- ① マルチローターを活用し、高齢化・担い手不足という問題のある中で、省力化・効率化をし、耕作放棄地を減らす。
- ② 水田の維持。
- ③ 作付農地の集約化。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

当組合の水稲の経営面積（平成29年1月31日現在）は約15haを、従来の人力による薬剤散布では約15日程度日数を要していた薬剤散布をマルチローターで実施することにより、5日で作業を終えることができ、約10日間の時間短縮を図れました。

時間短縮した10日間で畦畔の除草や水田管理に回ることができました。

※自己評価【B】

【理由】

初めてのマルチローターなので、バッテリー性能などの課題もあったが、マルチローターを活用することで省力化・効率化が行え、時間短縮ができ、畦畔の除草や管理など環境整備を行うことができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後、町内の薬剤散布作業が困難な水田農家を把握し、マルチローターの周知を図り、省力化、効率化を進めていき、他団体のモデルとして、地域に貢献できるよう必要な場所へ協力にいきたいと思います。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある